

中近世ヴェネトの領域史

ITALY-JAPAN INTERNATIONAL SYMPOSIUM
TERRITORIAL HISTORY OF VENETO
DURING THE MEDIEVAL AND MODERN PERIODS

イタリア・ヴェネト地方はかつてヴェネツィア共和国の大陸領土と呼ばれ、アドリア海に面するテラナーナから広大なヴェネト平原をへて急峻なアルプス山域にいたる、極めて多様な地理条件に特徴づけられる。われわれ共同研究グループは、平野と山地の中間地帯として丘陵都市アソロに着目し、2013年よりフィールド研究を進めてきた。

アソロへの領域は、ゆるやかに隆起する丘とその地形に即して発達した都市や集落、また点在するヴィラ群とあわせて、ヴェネトを代表する美しい風景を創出している。われわれの試みは丘陵地帯に展開するさまざまな規模の空間の形成と再編成、その特徴と継承の歴史を探索することといえる。

今回はイタリアから歴史学・地理学・建築学の最先端を担う専門家を招き、すでに分厚い蓄積をもつヴェネトの風景・領域研究の最新動向に学びつつ、目伊間における有意義な研究上の対話の実現をほがかりたい。学際的な研究が望まれる領域をめぐる都市史研究の進展と今後の目伊間のさらなる研究交流を願ってやまない。

2016年2月20日(土)・21日(日)

【会場】 東京大学法文二号館一番大教室
(定員200名・事前予約制)

資料・機材使用代として1,000円(両日共通)を申し受けます。参加を希望される方は下記ウェブサイトよりお申し込みください。予約用ウェブサイト: <http://itolab.org/reservation>
また、20日19時より懇親会を開催いたします。こちらも上記ウェブサイトよりお申し込みください。(2016/2/10 締切)

20th and 21st February 2016
The University of Tokyo, Hongo Campus, Faculty of Law & Letters Bldg.2, Lecture Hall 1

Sat. 20th Feb. 2016 14:00-18:00
Presentations by researchers in Japan (English)
Moderator: **Matteo DARIO PAOLUCCI** (Università Iuav di Venezia)
Takeshi ITO | The University of Tokyo
Presentation. A perspective to Asolo's research
«Session 1» **Structure of "Territory": a case study of Asolo's hill area.** <14:15-17:10>
Mizuki FUKUMURA | The University of Tokyo
Asolo and its hill territory: a reconstructive analysis of urban and rural spaces.
Bébio VIEIRA AMARO | The University of Tokyo
The development of the urban settlement of Asolo during the ancient and medieval periods.
Shunsuke NAKAO | The University of Tokyo
The architecture in Asolo's hill area: focusing on its water system and rural estates
Kazue AKAMATSU | Kyoto Institute of Technology
Villa and paesaggio in Asolo during the early modern periods
Shinya KATAYAMA | Japan Women's University
The portici of Asolo and other arcaded cities over the Apennines: between public and private spaces.
Comments by Invited Researchers <17:15-18:00>

Sun. 21st Feb. 2016 10:30-17:30
Frontiers of Landscape and Territorial Studies in Italy (Italian/Japanese)
Moderator: **Mamoru FUJISAKI** | The University of Tokyo
«Session 2» **Architecture and Landscape in the Veneto Region** <10:40-12:20>
Maurizio TREVISAN | SAMT, Architect
The building materials of the historic architecture: Asolo
Matteo DARIO PAOLUCCI | Università IUAV di Venezia
Historic landscape conservation in the Asolo territory
Comments by **Kazue AKAMATSU** and **Mizuki FUKUMURA**
«Session 3» **Methodologies and Perspectives towards a Territorial History** <14:00-16:00>
Massimo ROSSI | Fondazione Benetton Studi e Ricerche
Historical geography of the Venetian landscape
Dario CANZIAN | Università degli Studi di Padova
The role of the "Incultivated Land" in the medieval Veneto: productivity and society in the marginal lands.
Comments by **Takeshi ITO** | The University of Tokyo and **Keiko TAKADA** | Kobe University
Discussion and Conclusion <16:30-17:30>
Moderator: **Hidenobu JINNAI** | Hosei University

2016年2月20日(土) 14:00-18:00
日本の研究者による研究報告 (英語) 司会=マッテオ・ダリオ・パオルッチ (ヴェネツィア建築大学)

- アソロへの視点—開会の挨拶にかえて | 伊藤 毅 (東京大学)
- 【第一部】 丘陵都市の領域構造
丘陵都市アソロの空間構造—都市および周辺領域の復元的分析を通して | 福村 任生 (東京大学)
古代・中世におけるアソロの都市発展過程 | ベビオ・アマロ (東京大学)
水系と土地所有からみた丘陵地帯の建築 | 中尾 俊介 (東京大学)
アソロ近郊のヴィラとバエサッジョ | 赤松 加寿江 (京都工芸繊維大学)
アソロおよび北イタリアの都市におけるボルティコ—公と私の間で | 片山 伸也 (日本女子大学)
コメントおよび討議 | マウリツィオ・トレヴィザン (SAMT 建築家) マッシモ・ロッシ (パネトン研究財団)
ダリオ・カンツィアン (パドヴァ大学)

2016年2月21日(日) 10:30-17:30
イタリアにおける風景・領域研究の最前線 (日伊同時通訳・機材先着順100名) 司会=藤崎衛 (東京大学)

- 【第二部】 ヴェネトの建築と風景
アソロにおける歴史的建築の素材 | マウリツィオ・トレヴィザン (SAMT 建築家)
アソロ領域における歴史的風景の保存 | マッテオ・ダリオ・パオルッチ (ヴェネツィア建築大学)
コメント | 赤松 加寿江 (京都工芸繊維大学) 福村 任生 (東京大学)
- 【第三部】 領域史への方法と視座
ヴェネトの風景の歴史地理学 | マッシモ・ロッシ (パネトン研究財団)
中世ヴェネトにおける未墾地の役割—辺境地帯の生産と社会 | ダリオ・カンツィアン (パドヴァ大学)
コメント | 伊藤 毅 (東京大学) 高田 京比子 (神戸大学)
- 全体討議 司会=陣内秀信 (法政大学)

【問い合わせ先】
日伊国際シンポジウム運営委員会事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻伊藤毅研究室気付
電話 = 03-5841-6184
メール = italysympo2016@itolab.org
ウェブサイト = <http://itolab.org/event/italysympo2016>
【主催】 2013-2017年度科学研究費基礎研究 (S)
「わが国における都市史学の確立と展開にむけての基礎的研究」(代表: 伊藤毅)
【共催】 都市史学会
【後援】 日本イタリア国交150周年事業/ イタリア文化会館/
アソロ市/パネトン研究財団/ヴェネツィア建築大学/
SAMT/公益財団法人日伊協会

